

学校法人金井学園 福井県医療福祉専門学校 自己評価表・学校関係者評価報告

福井県医療福祉専門学校は、高等教育機関として学生が質の高い教育を受けることができるよう、各項目について毎年度末に自己評価を実施し、改善を図ることを目的とし、これを公表いたします。

令和7年3月31日

下記に、令和6年度の自己評価ならびに学校関係者評価の結果をご報告いたします。

評価項目		自己評価					学校関係者評価				
		(高) 5	4	3	2	(低) 1	(高) 5	4	3	2	(低) 1
教育理念	理念、目標は明確か	○					○				
	育成すべき人材像は明確か	○					○				
	特色ある学校作りを図っているか		○					○			
学校運営	経理、人事、労務、学生管理が適切に行われているか	○					○				
	情報公開が適切に行われているか		○					○			
	個人情報の管理が適切に行われているか		○					○			
教育活動	専門職養成に対応できる教育内容編成になっているか	○					○				
	成績、単位、進級、卒業の基準が明確か	○					○				
	教職員の能力開発のための研修等が行われているか		○					○			
修学成果	就職率の向上を図っているか	○					○				
	資格取得率の向上を図っているか		○					○			
	退学率の低下を図っているか		○					○			
学生支援	学生が相談しやすい環境が整備されているか		○					○			
	就職に関する支援体制が整備されているか		○					○			
	必要に応じて保護者との連携がとれているか		○					○			
社会貢献	学生のボランティア活動を推奨、支援しているか		○					○			
	学校の資源や設備を活用した社会貢献を行っているか		○					○			
	行政または他団体からの委託事業を積極的に受け入れているか		○					○			
環境整備	学生が安全に修学できる環境が整備されているか		○					○			
	災害に対する体制が適切に整備されているか		○					○			
	学生生活が充実できる環境づくりが図られているか		○					○			
募集活動	学校や分野の魅力を適切に伝えられているか		○					○			
	メディア等を活用し、学校のアピールを図っているか		○					○			
	入学生を増やすための見直しや工夫に努めているか		○					○			
財務状況	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか		○					○			
	予算、事業計画は有効かつ妥当なものとなっているか		○					○			
	決算の会計監査が適切に行われているか		○					○			

委員からの意見

- ・専門学校両校や学園の資源を共有し、教育の質を向上してもらいたい。
 - ・魅力ある学校づくりをしていることや、社会的な状況について知ることができた。
 - ・留学生の人数が増加するに当たり、障がい分野の事業所の支援について理解してもらうことが難しくなっていくと思われるが、障がい者の支援についても少しでも理解してもらいながら、面白いと思ってもらえる機会を持てるように、学校・事業所が協力していかなければならない。
- ・日本人と留学生が同じレベルで学習できるのか
- 留学生の日本語の読度や語彙の理解があるため、授業を分けて行っていたが、留学生の日本語能力が向上しているためできるだけ同じ学習環境にしている
留学生が日本人学生よりも年齢が高く、現場では日本語でのコミュニケーションが必要であり、留学生と日本人が一緒にいることで色々な事が育つため
デメリットよりメリットの方が高い状況である。
- ・介護分野について高校生や留学生への魅力発信をどのように行っているか
- 何でもしてあげるのが介護と理解している生徒も多くいるため、介護のプロフェッショナルとしてその人に合せた対応やその人の背景、障害や身体的事
介護のテクニック等をトータルケア考える魅力を分かり易く伝えている。プロフェッショナルになることが誇りになる仕事であることも伝えている。
- ・退学者の割合や理由を教えてほしい
- 今年度の退学者数は入学者の1割である。理由は個々に違っており、個人的理由、高校時代から学校に通うことが難しい学生や他の業界への興味関心により
退学をしている。保護者等とも面談を行った上で、退学に至っている。
- ・オープンキャンパス参加者が入学につながっているか
- オープンキャンパス参加者が入学する割合は7割程度となっている。オープンキャンパスに参加する生徒は入学を意識している方が多い傾向にある。
- ・卒業した学生が来学しやすい環境にすることで離職を防げるのではないか
- 卒業した学生が近況報告に訪れてくれることもある。中期計画では、同窓会の設立し、卒業生との交流の場を設ける予定である。単なる同窓会だけでは
なく講演会を同時開催することで、少しでも多くの卒業生が来校できるような企画をしている。
- ・災害時には住民を受け入れる建物となりうることも考えらるため、防災訓練は地域との連携が必要になるのではないか
- 地域と連携した防災訓練は実施していないため今後検討していく。災害時に必要とされる地域に根ざした学校となれるよう備蓄や環境を整えていきたい。